東大病院
地域医療連携センター通信

第6号
2022.2

CONTENTS

地域医療連携センターからのお知らせ ……1
WEBアンケートの結果について……2
診療科紹介
　形成外科・美容外科 ……4
　糖尿病・代謝内科 ……5
医療連携登録医療機関のご紹介 ……6

地域医療連携センターからお知らせ

1）医療機関からの問い合わせ内容によって、連絡先が変わります。下記、一覧表をご参照ください。
※患者と電話が集中する午前中など曜日・時間帯によっては、お電話が大変混み合っており、つながりにくい状況となっております。
　大変ご迷惑をお掛けしておりますこと深くお詫び申し上げます。

NO	問い合わせ内容	問い合わせ部署	電話	備考
1	患者紹介、診療予約について	予約センター	03-5800-8630	音声に沿って番号を選択してください
2	診療情報提供書の作成依頼、転院以来 等	代表電話	03-3815-5411	オペレーターへ該当診療科を伝えてください
3	診療について相談・問い合わせ	各診療科		
4	その他の地域医療連携について	地域医療連携センター	03-5800-9101	

東大病院診療科案内に記載ある連絡先に問合せてください

2）【お知らせ】令和４年度の診療体制について
　令和４年度の診療体制について、同一週内に２度の休診日があること及び同一曜日が２週続けて祝日になることを鑑み、令和５年１月９日（月）を開院し、通常の平日と同程度の診療体制（外来・入院）を確保しますのでお知らせいたします。
　なお、ゴールデンウィーク時の救急診療につきましては、通常どおり対応いたしますことを申し添えます。

診療日／令和５年１月９日（月）

WEBアンケートの結果について

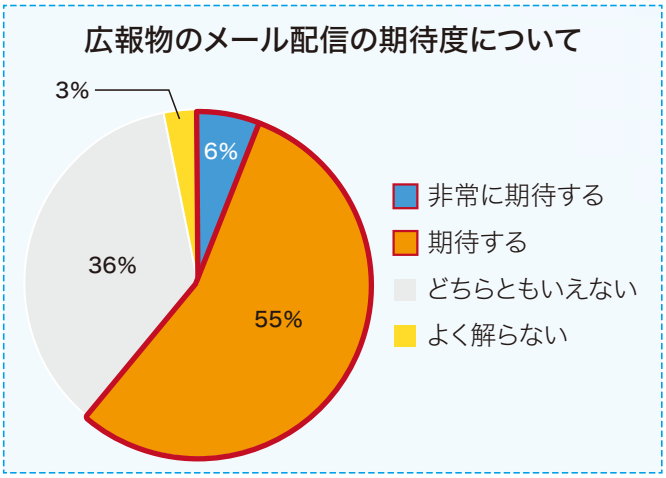
地域医療連携登録を行っている医療機関様との活動をより良いものにしていくために、10 月 1 日～ 29 日の期間でアンケート調査を実施させていただきました。
御忙しい中 WEB アンケートにご協力いただきました医療機関様には、御礼申し上げます。
このたびアンケート結果がまとまりましたので、結果の一部ではございますが、ご紹介させていただきます。
※アンケートにご回答いただきました医療機関様につきましては、詳細な結果を令和 3 年 12 月 28 日付で配信させていただいております。

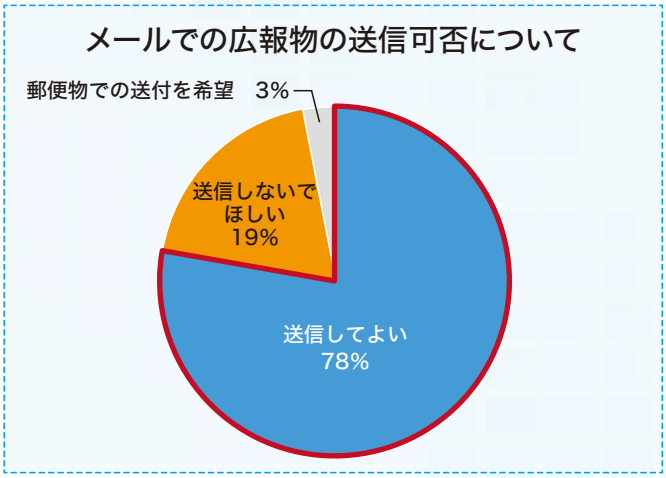
【アンケート結果のご紹介】

今回のアンケートでは、当院で配布している広報物について、多くの医療機関で利用していただいていることの確認ができました。また、複数の医療機関からは、「連携通信」についての特集内容や「東大病院への予約システム」について、貴重な意見をいただくことができました。特に改善のご意見、ご要望につきましては、ご期待に応えられるよう努めてまいりますので、今後ともご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

1）広報物のメール配信について

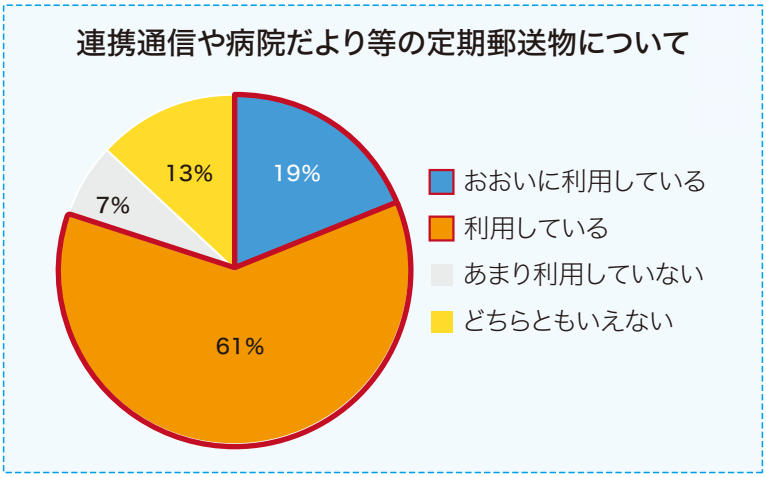
多くの医療機関では、地域医療連携に関するパンフレット等についてメール配信を御希望されていることを確認できました。
なお、メール配信導入後も、広報物は引き続き郵送いたしますのでご安心ください。





2）連携通信等の広報物について

多くの医療機関では、定期配信している「連携通信」や「病院だより」などを利用していただけていることが確認できました。
今後も、皆様のご意見を取り入れ、より良い内容にしていきたいと思います。



【アンケートからのご意見】

（1）記事の特集について

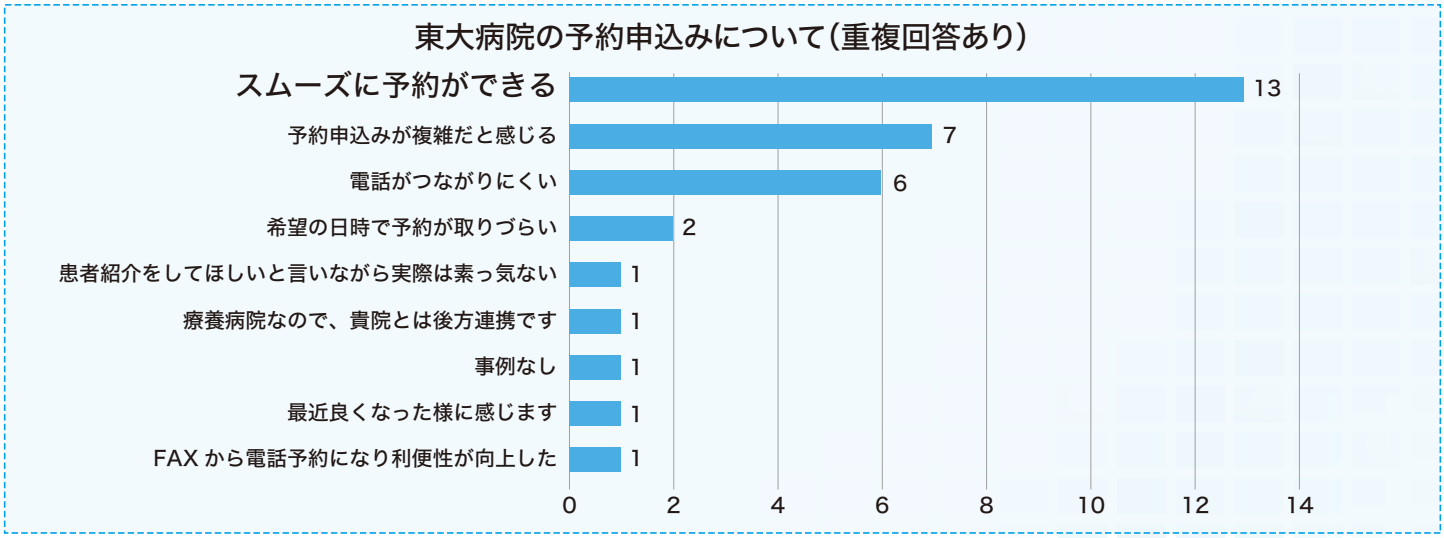
・特集する科を多くして欲しい
・泌尿器科を特集して欲しい
・地域医療連携センターの業務を特集して欲しい
・医療連携先に対しての要望を特集して欲しい　etc.

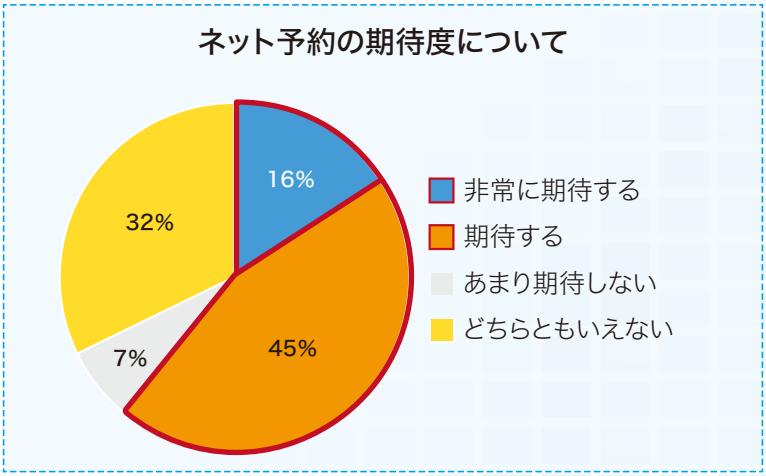
（2）記事の内容について

・各科の取り組んでいる得意疾患を教えて欲しい
・同じ科でも病気毎に誰に紹介すればいいのかを教えて欲しい
etc.

3）東大病院の予約システムについて

スムーズに予約できるとのご意見を多く頂戴しました。一方で、「予約申し込みが複雑である」や「電話がつながりづらい」等のご意見もありました。多くのご意見にお応えできるよう、インターネット予約等の導入についても検討していきたいと思います。





4）お知らせ

より多くの連携医療機関の皆様からのご意見・ご要望をいただきたく追加アンケートを行うことにしました。
特に、10 月のアンケート未回答の連携医療機関につきましては、ご協力いただけますよう何卒お願いいたします。
なお、連携登録契約時にメールアドレスを登録されている連携医療機関については、メールでもご案内させていただきます。

【アンケート内容】

1）地域連携パンフレット等について、メールでの受診も希望したい
2）連携通信の特集して欲しい内容がある等
3）東大病院の予約システムについて
4）東大病院に伝えたいことがある

これからもどうぞよろしく御願いいたします。

診療科紹介
形成外科・美容外科

顔面変形/顔面神経麻痺の形成術を通して、患者さんのQOLを向上させる

形成外科・美容外科　教授　岡崎睦

形成外科・美容外科科長の岡崎です。形成外科は、形態や機能を再建して患者さんのQOL や ADL を向上させることが主たる役割の診療科です。診療範囲には全身が含まれますが、今回は、当科で特に力を入れている顔面領域の診療を中心にお話しさせていただきます。

① 顔面神経完全麻痺

顔面神経麻痺の原因のうちの約 8 割を Hunt 症候群と Bell 麻痺が占め、急性期には耳鼻咽喉科で薬物療法が行われるため、形成外科の役割は、外傷・腫瘍切除等で傷害された顔面神経を再建することと考えられがちです。しかし実は、Hunt 症候群や Bell 麻痺などの回復後に残った後遺症についても多くの治療を行っています。

a. 顔面神経完全麻痺

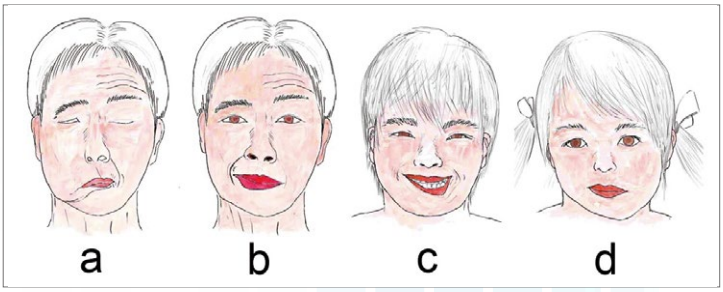
いわゆる“表情筋が全く動かない”の患者さんで、眉毛・眼瞼下垂による視野狭窄、閉瞼不全、下眼瞼外反、“笑うと口が健側に行ってしまう”症状が見られます。脳腫瘍や頭頸部腫瘍摘出後の患者さんが多いですが、眼周りの症状は、局所麻酔下の簡単な手術で改善し、QOL が劇的に向上します。口周りについては、全身麻酔下手術になりますが、大腿筋膜移植、神経血管柄付き筋肉移植により、かなり正常に近づけることが可能です。筋肉移植を行う施設は限られていますが、当科では筋肉移植を用いた新しい術式や閉瞼機能の新しい評価法を世界に発信しています。

b 病的共同運動と表情筋拘縮を合併する顔面神経不全麻痺

Hunt 症候群の後遺症として多く見られ、表情筋はそれなりに動きますが、意図した通りに動かなかったり（閉瞼しようとすると口が動いてしまうなど）、一緒に動いてほしくない筋肉が同時に動いてしまったり（口を動かすと閉瞼しまうなど：病的共同運動）、一部の筋肉が縮んで引き攣れたまま固まっていたり（表情筋拘縮）します。先生方の外来に通っている患者さんで「この人の顔は曲がっていて、動きも何か変だな・・・」という方はいらっしゃらないでしょうか？このような患者さんには、本人の愁訴に合わせて、a で述べた手術のほか、拘縮した表情筋の部分切除を行うことにより、症状を改善することができます。「症状を改善させる治療がある」ことを知らず、誰にも相談できずに不快感や表情へのコンプレックスをもって生活している患者さんも多いので、ぜひご紹介いただけたらと思います。

c,d 先天性下制筋単独麻痺や顔の非対称を伴う不全麻痺

生まれつき、顔面非対称や顔面神経の完全および不全麻痺を持つ患者さんには、先天性下制筋麻痺 (c) や顔の低形成を伴う第 1 第 2 鰓弓症候群 (d) などがあります。軽度の麻痺・変形であっても 多感な AYA（Adolescent and Young Adult）世代では悩み深いものになります。これらの患者さんに対しては、上記 a,b で述べた術式のほか、骨切り・骨移植術、脂肪移植術、遊離脂弁移植、対側神経切離術などにより、形や麻痺の治療を行います。



② その他の顔面変形（先天性・後天性、外傷後）

先天性症候群による顔面変形、ロンバーグ病（後天性顔面萎縮症）、剣創状強皮症、深在性エリテマトーデス、外傷等による後天性の顔面変形に対しても、上述の手技を組み合わせて治療を行っています。

その他、眼瞼下垂（原因の如何を問わず、瞳孔に上眼瞼がかかっているもの）は、近年、話題にもなっていますが、手術により視野狭窄が改善されるとともに、肩凝りなどの症状の改善も期待できる場合があります。

③ 当科では、これらの顔面疾患以外にも、乳房再建、リンパ浮腫治療、難治性潰瘍・褥瘡、瘢痕やケロイド、小児先天異常、皮膚良性悪性腫瘍・軟部腫瘍、血管腫など広い領域において経験豊富なスタッフを配して診療にあたっています（詳細は、当科のホームページをご覧ください https://plastic.m.u-tokyoac.jp/clinical_category/speciality/）。

形成外科は生命に関係しない疾患が多いですが、患者さんの愁訴に合わせた手術を行って QOL や ADL を向上させながら、一人でも多くの患者さんの幸せになれるよう、地域医療にも貢献していく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

診療科紹介

糖尿病・代謝内科

豊かな人生100年時代の健康長寿のために多職種チームで個人に最適な治療を実践する

糖尿病・代謝内科　科長　山内敏正

糖尿病・代謝内科科長の山内敏正でございます。糖尿病・脂質異常症・肥満症・メタボリックシンドロームは、ライフスタイルの変化に伴い急増している疾患です。当科では、これらの疾患の予防・治療を行っています。また2018年に我が国は超・超高齢社会に突入しサルコペニアが問題となっております。豊かな人生100年時代の健康長寿には貯“筋”も重要ということで、サルコペニア予防・改善についても重視して診療を行っております。当科ではご紹介いただいた患者さんの教育入院を積極的に推進しております。新型コロナウイルス感染症へのかかりやすさは糖尿病があっても変わらないとされていますが、感染した際により重症化しやすいために、普段の血糖マネジメントがとても大切です。血糖、血圧、脂質の改善のみならず、内臓脂肪蓄積やサルコペニアを予防・改善させるために、糖尿病のメディカルスタッフと一緒に、個人毎に最適な食事・運動法を教育入院で見つけていただきたいと考えております。

診療体制

糖尿病診療はチーム医療であり、糖尿病専門医と糖尿病療養指導士（CDEJ）が連携をとり、きめ細かな診療を行っています。CDEJは糖尿病治療に最も大切な自己管理を患者に指導する医療スタッフで、当院は全国トップクラスの在籍数を誇ります。外来では、専門外来は毎日、「肥満症外来」は平日午前に開設し、心療内科、病態栄養治療部、胃・食道外科と協力して診療を行います。「糖尿病足外来」（木曜午前）では、糖尿病看護認定看護師が足病変の予防・教育およびケアを行います。「糖尿病透析予防指導外来」（水曜午後・木曜午後）では、医師・管理栄養士・看護師からなるチームが腎症進行予防のための生活指導を行います。病棟では、糖尿病教育入院のほかに、合併症の精査・治療や外科手術前の血糖マネジメントが必要な患者に対して診療を行っています。各患者にとって最適な食事療法・運動療法・薬物療法を実践しています。医学的に適応があれば、糖質50%調整食・40%調整食を導入します。血糖自己測定・体重4回測定など、セルフケアをサポートします。また、食事負荷試験によるインスリンの分泌能の評価や、血糖が不安定な患者には連続的血糖モニタリングを行います。高齢者を中心にサルコペニア・フレイルのチェックを行い、体組成計も用いてサルコペニアの進展を防止する内容での栄養食事指導にも力を入れています。「糖尿病教室」（外来および入院）では、医師およびCDEJ（看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士）が各専門分野を講義します。「ベストウェイト教室」（外来）では、肥満症に関連した健康障害と治療法や食事療法について、分かりやすく解説いたします。女性診療科・産科と協力して妊娠糖尿病の教育入院や、心療内科、病態栄養治療部、胃・食道外科と協力して肥満症の減量入院にも力を入れております。高度肥満症に対する肥満外科手術について、2014年4月より腹腔鏡下スリーブ状胃切除術が保険収載され、当院においても2018年4月から保険診療にて腹腔鏡下胃スリーブ手術が可能となりました。現在までに手術後の良好なBMIの低下や、糖尿病や高血圧の投薬を要する症例の割合にも低下を認めております。

対象疾患および得意分野

糖尿病の血糖マネジメントや生活指導、その他すべての糖尿病、脂質異常症、肥満症、メタボリックシンドローム、痛風・高尿酸血症、その他代謝性疾患全般の生活指導と薬物治療、特殊な脂質異常症の精査・治療。高度肥満症外科手術における胃・食道外科や心療内科等との他科連携やCDEJとの多職種連携によるチーム医療。

先進医療・特殊医療

ミトコンドリアDNA異常やMODY1～6、インスリン受容体異常症を始め、その他の遺伝子異常による代謝疾患が疑われ、同意が得られた症例に遺伝子診断を行い、それに基づいて治療を行います。インスリンクランプ試験では、人工膵臓を使いインスリン抵抗性を精密に評価します。

専門外来

初診外来（平日午前）、糖尿病外来（平日午前午後）、肥満症外来（平日午前）、糖尿病足外来（木曜午前）、
糖尿病透析予防外来（水曜・木曜午後）

医療連携登録医療機関のご紹介

いつもありがとうございます！

葛飾南クリニック

院　長：上野　克仁
所在地：東京都葛飾区西新小岩1-3-11 フォーラム新小岩3階
ＴＥＬ：03-5654-2321

いつも大変お世話になっております。当院は高齢者施設を中心に個人宅への訪問診療も行う、外来（内科一般）診療にも対応するクリニックです。JR 総武線新小岩駅前（北口）にございます。医師、看護師が多職種と連携し24時間体制で診療に取り組んでおります。常に質の高い医療を提供し、ご高齢の方が日々穏やかに暮らせるようお手伝いをさせて頂ければと考えております。クリニックの特色上、認知症、脳梗塞後遺症、がん末期等の患者様を中心に担当しております。意思疎通困難な患者様も多数いらっしゃいます。患者様、ケアスタッフ、患者様ご家族とのコミュニケーションを大切にするよう心がけております。退院調整や自宅、施設での療養でお困りの際はお気軽にお声がけ頂ければ幸いでございます。院長の上野は本学胸部外科（心臓外科・呼吸器外科）出身です。
今までの専門を生かしつつ、「人を診ていく」という姿勢で日々の診療に勤しんでおります。
ホームページ　http://houmonshinryou.com/clinic/reimei-08/

根津すずらん歯科

院　長：菅野 多真
所在地：東京都文京区根津2-28-5-101
ＴＥＬ：03-5834-8882

当院は、2015年11月に文京区根津に開業しました。大学病院や総合病院で、多くの患者様の治療を行い、研鑽を積んで参りました。私達は、患者様に安心して治療を受けていただけるように、丁寧で分かりやすい説明を心がけております。スタッフ全員が優しく明るいので、歯科医院が苦手な小さなお子様でも、楽しく通院することが出来ます。地域の皆様にとって、何でも相談していただける、身近な存在となれたらよいなと願っております。

＜特徴＞

- 最新の接着技術を使って、なるべく歯を削らない治療、Minimal Intervention（MI）を行っております。所属する歯科医師の多くが、MI に必須の「接着」を専門としており、可能な限り歯を削らず、虫歯になりにくい、保存的な治療を行っております。
- 睡眠時無呼吸症候群の治療を、歯科の立場から、積極的に行っております。マウスピースの作製を行うと共に、無呼吸が疑われる患者様には睡眠専門のクリニックをご紹介したり、多くの医院と連携して、改善を目指しております。
- 一般歯科、矯正歯科、歯科口腔外科と専門の異なる複数の歯科医師が勤務しています。治療の内容により、専門の歯科医師から治療を受けることが出来ます。
- 定期的なメンテナンスに力を入れています。健康な状態を長く維持できるよう、担当衛生士が、時間をかけて丁寧にクリーニングを行って参ります。また、周術期の口腔ケアも行っております。

ホームページ　https://www.suzurandental.com

東大病院 The University of Tokyo Hospital
東京大学医学部附属病院
〒113-8655　東京都文京区本郷7-3-1　TEL：03-5800-9254
URL：http://www.h.u-tokyo.ac.jp　Email：gairai-renkei@adm.h.u-tokyo.ac.jp

◆編集・発行　令和４年２月　東京大学医学部附属病院 地域医療連携センター（入院棟B・1階）